

乳がん検診方法と発見率

日本では 2000 年に 50 歳以上の女性にマンモグラフィー併用検診が導入され、2004 年には 40 歳以上に拡大されました。その結果、2005 年の成績では、マンモグラフィー併用による乳がんの発見率は 0.27% で、視触診 (0.14%) の 2 倍となり、早期乳がんの発見率は従来 of 視触診検診の 50 ~ 70% に向上しています。また、日本において乳がんの罹患率が高い 40 歳代を対象に超音波併用乳がん検診の有効性を確認する試験も現在進行中です。